

Statistical Room



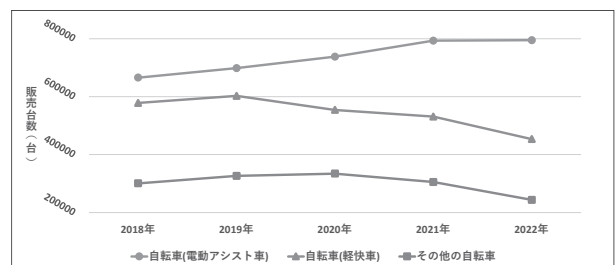
京都府における自転車利用

みなさん、外出するときの交通手段は何を利用されていますか。徒歩や車、電車、バスなど様々な手段があります。今回はその中でも、私たちの日々の生活で手軽な移動手段として親しまれている自転車に焦点を当て、京都府における自転車の利用状況について調べてみることにしました。

まずは全国の自転車販売台数について見てみます。2019年以降、軽快車（いわゆる一般車）とその他の自転車（マウンテンバイクやミニサイクル、子供車など）は、横ばいで推移しつつもやや減少傾向にあります。一方で電動アシスト車は右肩上がりです。このことから、近年は電動アシスト車が主流になりつつあることがうかがえます。

(図1)

図1 自転車販売台数の推移（全国）



出典：経済産業省「経済産業省生産動態統計調査」
注 その他の自転車はマウンテンバイクなど、軽快車は一般的な自転車

次に図2を見てみますと、京都府内の通勤・通学をしている人たちのうち、15%が自転車のみを利用しており、この割合は全国第2位となっています。

(図2)

図2 自転車のみによる通勤・通学者数とその割合

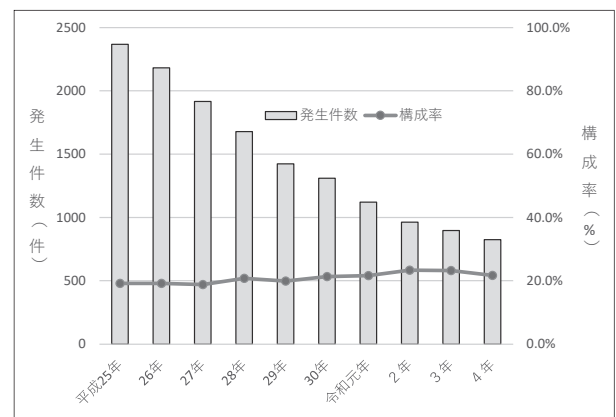
順位	都道府県	自転車のみによる通勤・通学者数（人）	自転車のみによる通勤・通学者の割合（%）
1	大阪府	758,149	20.39
2	京都府	164,142	15.00
3	愛媛県	81,277	14.08
4	高知県	37,958	12.96
5	東京都	751,728	12.89

出典：総務省「令和2年国勢調査」

次に京都府における自転車事故発生件数について見てみます。自転車事故の発生件数は令和4年度は825件であり、年々減少しています。しかし、全交通事故のうちおよそ20%の割合を占め続けているというのが現状です。

(図3)

図3 自転車事故の発生件数の推移（京都府）



出典：京都府警察本部交通部交通企画課「令和4年中の交通事故概況」

今年の4月1日から、自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務化されました。この機会にぜひ自転車の利用方法について考えてみてはいかがでしょうか。